

令和4年度 岐阜県慢性閉塞性肺疾患（COPD）対策事業
岐阜県医師会県民公開講座

教えて！COPD

～ガンだけじゃない！タバコで起こるコワイ肺の病気～

主催

岐阜県医師会、岐阜県 COPD 対策協議会

後援

GOLD日本委員会、岐阜県歯科医師会、岐阜県薬剤師会

教えて！COPD

～ガンだけじゃない！タバコで起こるコワイ肺の病気～

プログラム

司会：平野良尚（岐阜県医師会 常務理事）

開会・挨拶 伊在井みどり（岐阜県医師会 会長）

講演

『吸入薬はCOPD治療の主軸！～本当に吸えていますか？～』

◇ 講師 ◇

大林浩幸（岐阜県COPD対策協議会 委員長、東濃中央クリニック 院長）

特別講演

『肺の生活習慣病（COPD）と紙巻き&加熱式タバコの
危険な関係』

◇ 講師 ◇

大和浩（産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室 教授）

◇講演◇

吸入薬は COPD 治療の主軸！～本当に吸えていますか？～

岐阜県 COPD 対策協議会 委員長、東濃中央クリニック 院長 大林 浩幸

Profile

1990年 名古屋大学医学部卒
名城病院、一宮市民病院、名大病院を経て、
1998年 昭和病院(現：東濃厚生病院)
2005年 同アレルギー呼吸器科部長、名古屋大学医学部客員研究員
2011年11月 東濃中央クリニック開業
現在、藤田医科大学医学部 客員教授、島根大学呼吸器・臨床腫瘍学 臨床教授、昭和大学医学部講師、岐阜大学医学部講師（非常勤）を兼任

<所属学会>

【国内】

日本呼吸器学会（指導医、専門医、COPD ガイドライン査読委員）、日本アレルギー学会（専門医、喘息ガイドライン JGL2009、JGL2012、JGL2015、JGL2018 作成委員）、日本消化器病学会（専門医）、日本消化器内視鏡学会（専門医）、日本禁煙学会（専門医）、日本骨粗鬆症学会（専門医）

【海外】

米国胸部疾患学会（専門医、Fellow of Chest Physician）、米国呼吸器学会(ATS)、欧州呼吸器学会(ERS)（ゴールド会員）等

◇特別講演◇

肺の生活習慣病（COPD）と紙巻き&加熱式タバコの危険な関係

産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室 教授 大和 浩

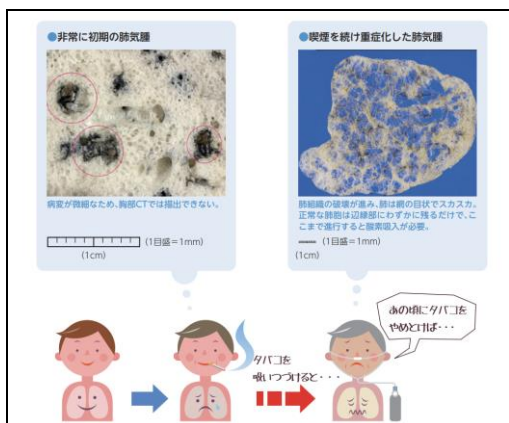
肺気腫や慢性気管支炎などを総称して慢性閉塞性肺疾患（Chronic Obstructive Pulmonary Diseases: COPD）と呼びます。長期間の喫煙によって肺がフランスパンのようにスカスカになってしまい、酸素を取り込む能力が低下する進行性の病気です。重症になると鼻から酸素を吸わないと移動も生活もできなくなります。COPDの潜在的な患者さんは500～530万人と推定されていますが、症状は徐々に進行するため、「年齢のせい」と思っている人が多く、医療機関で治療をしているのは22万人しかいません。

厚生労働省が提唱する健康日本21（第二次）では、「COPDを知っている国民を8割以上」にすることが目標として掲げられています。COPDは呼吸機能検査（スパイロ検査）、あるいは、CT検査を受けることで診断ができます。長期間喫煙している人は、ぜひ検査を受けて下さい。その徴候が見られた場合、即刻、禁煙しましょう。仮に、COPDの診断が下されなかったとしても、長期的に観察した場合、喫煙は肺機能の低下を進めるので、肺機能が保たれているうちに禁煙しましょう。タバコがやめられないのは「ニコチン依存症」という病気です。ドラッグストアで医師の処方箋なしで購入できるニコチンガム、パッチを使えば、比較的楽に禁煙できます。タバコ1箱580円することを考えれば安いものです。

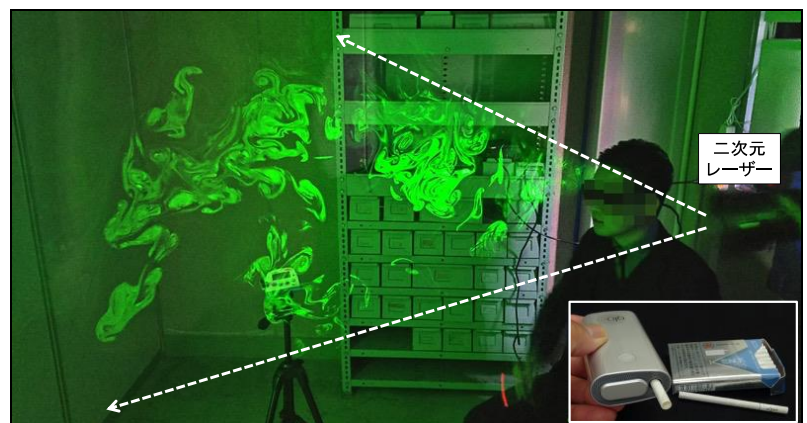
加熱式タバコにも発がん性物質が含まれていますので、長期間の使用による発がんの恐れがあります。また、ニコチンを肺に送り込むキャリアとして使用されているグリセロール（独：グリセリン）はベタベタした有機溶剤です。肺に内側から吹き付けた場合、肺がしばむ恐れがあります。そもそも、ニコチンが含まれているので、「ニコチン依存症」という病気からは脱却できません。さらに、加熱式タバコでも受動喫煙に相当する二次喫煙が発生します。

日本で販売されている電子タバコにはニコチンは含まれていませんが、グリセロールによる肺障害が発生する恐れがあることは同じです。日本呼吸器学会は「加熱式タバコ、電子タバコには有害成分が含まれている。本人だけでなく周囲の人にも悪影響が発生する可能性が高い」と警鐘を鳴らしています。

恐ろしい不治の病、COPDを予防するためには、すべてのタバコ製品をやめるしかありません。



日本呼吸器学会：COPD 啓発パンフレット「肺の寿命の延ばし方」より



加熱式タバコを使用した際に呼出されるエアロゾル（ミスト）

【略歴】 産業医科大学医学部 1986 年卒。呼吸器内科、労働衛生工学研究室を経て、2006 年より現職
【研究テーマ】

- ① アスベスト代替繊維の生体影響、
- ② 作業環境改善（局所排気装置内蔵の新型解剖台で解剖実習室のホルムアルデヒド濃度を
1000→40ppb に改善）
- ③ 職域の包括的な喫煙対策（喫煙室廃止、建物内・敷地内禁煙、勤務日の禁煙）
- ④ 医・歯学部敷地内禁煙化、タクシー、JR 在来線特急と東京以北の新幹線の全面禁煙化
- ⑤ 地方自治体の敷地内禁煙化の促進
- ⑥ 多忙な勤労者が運動習慣を獲得・維持する職場環境と指導法の開発委員

* MEMO * * * * *

* * * * *